

新 潮



校訓

郷土を愛し
明るく素直で
たくましく

文責：校長 川内康範

中学生のボランティア活動が

村の元気につながっています

ふれあい健康ふくしまつりへの協力

4日(土)「ふれあい健康ふくしまつり」が行われ、中学生はボランティアとして協力しました。午前中は第一部「レクリエーション」のお世話です。さまざまな競技の準備をしたり、ゴールテープ係をしたり、参加賞を渡したり、お年寄りのお手伝いをしたり……。中学生はてきぱきと働き、スムーズな運営に協力していました。もし、中学生の活躍がなかったら、こんなにテンポよくプログラムは進んでいなかったことでしょう。中学生の働きがとも光っていました。午後の部は「ふれあい広場」です。ここでも中学生は楽しく頑張っていました。くじやもぐらたたきコーナーを手伝ったり、大きな声を出しながら募金箱を持って回ったり……。中学校は昨年度作っていた「カマスの開き」を販売しました。売れ行き好調で、あつという間に売り切れでした。買っていたいだいた

皆さんありがとうございました。

また、恒例の30メートル長巻き寿司を作りました。福祉講話は、車いすバスケットをされている末吉研太さんでした。大学生の頃交通事故に遭い、首から下がほとんど動かなくなり、一時は絶望して生きる意味を見失っていたそうです。しかし、車いすバスケットと出会い、リハビリを頑張つて、今は明るく充実した日々を送っていらつしやいます。最後に、福引きやもちまきなどがあり大いに盛り上がりました。

福祉について考えたり、お年寄りの方々とふれあったり、地域行事の役に立ったりと、たいへん有意義な一日となりました。

